

津久戸

令和7年6月30日

7月号 — 新宿区立津久戸小学校

津久戸小のひみつ2

副校長 和歌 恭子

楽しみにしていた校庭のプールのふたが開き、水泳の学習が始まりました。6月の中旬にはWBGT（暑さ指数）が31を超える日もあり、今年の夏も暑くなりそうな気配です。

その暑さの中、子供たちに面倒を見てもらいながら頑張っている植物が、今回私が見付けた津久戸小のひみつです。



写真を見てください。白い花も葉もそっくりですが、左が2年生のピーマンで、右が4年生の内藤とうがらしです。「内藤とうがらし」とは？

江戸時代に新宿で栽培されていた江戸野菜だそう、「内藤かぼちゃ」と一緒に江戸東京野菜として認定されているとのこと。江戸時代の新宿の人が育てていたまぼろしの野菜を、津久戸小の児童は、分けてもらって育てているのです。ネットを這い上り、上を目指している不思議なかぼちゃを私は初めて見ました。どんなふうに実がなるのか、今から楽しみです。



内藤かぼちゃ



ミニトマトの花



アサガオ

他にも、校庭には2年生のキュウリやナス、ミニトマトが花を付け、実もでき始めました。6月20日には、1年生のアサガオが初めて花を咲かせました！3階の庭では、ゴーヤが黄色い花を咲かせています。7月には青森からメロンの鉢植えもやってくるのだそうです。やはり津久戸小は、都会のオアシスでした。

おまけ:たらいで水遊びする園児
超キュート!!



河口湖移動教室を終えて

6年担任

6月2日から4日まで河口湖移動教室を実施しました。

自然豊かな環境で、林業やカヤックなど普段なかなかできない貴重な体験ができました。ホテルでは、食事や入浴、就寝準備など、仲間と協力し合って楽しく過ごしました。様々な経験を通して、子供たちは逞しく成長しました。

なかなか見られなかった富士山は、子供たちの頑張りに応えるように、最終日に姿を見せてくれました。子供たちにとって何よりのご褒美です。

“自分だけでなく、周りのことを考えて行動”この移動教室中、ずっとテーマにしてきました。今後の学校生活、そして社会に出たときに、ここの学びを生かして欲しいと願っています。



ICT 活用について

情報担当

「生成AI」という言葉がニュースや学生の間でもよく聞かれるようになってきました。生成AIは文章や画像、動画など様々なコンテンツ制作ができることやたくさんの情報を要約したり、最適なものを選んだりなど作業や仕事を効率よく進めていくためにとても便利なものです。しかし、デメリットもあります。データを収集し使用する際の著作権侵害のリスクや、偏見、差別表現を含むコンテンツを生成するリスクなどがあり、使い方を誤ると自分だけではなく周りにも危険が生じます。

学校教育の中では「情報モラル」についての指導を行っています。タブレットやインターネットの便利さを伝えながら「インターネットは誰もが見たり使ったりするもの」「サイトの情報を扱う際の注意点」などを指導し、子供たちが安全に情報機器を利用するための知識や判断力を培っていきます。お子さんが情報機器を使用する際は、ご家庭でも様子を見守っていただくとより安心です。ご協力のほどよろしく願いいたします。